

| Minami Kyushu University Syllabus |   |         |     |  |                     |            |
|-----------------------------------|---|---------|-----|--|---------------------|------------|
| シラバス年度                            | 2023年度  | 国講キャンパス |     | 都城キャンパス  |                     |            |
| 科目名称                              | 都市景観学特論Ⅱ  |         |     | 実務経験   | ○                   | Active・L ○ |
| 科目コード                             | 642461  | 単位数     | 2単位 | 学位授与方針との関連   | 1. 専門分野に関する知識・技能と教養 |            |
| 教員氏名                              | 平岡 直樹   |         |     |  |                     |            |
| 授業概要                              | 本授業の目的は、地域景観学特論Ⅰで学んだ普遍的な基礎的な内容を元に、地域社会での応用と展開を行う。地域性や歴史性などの多角的な視点から、景観の評価、調査、計画手法を論じる。また、実際の事例を取り上げ、調査方法や分析方法選定からまとめまでを体験する。  |         |     |  |                     |            |
| 関連する科目                            | 都市景観学特論Ⅰを受講した上で、しっかりと復習しておくことが望ましい。   |         |     |  |                     |            |
| 授業の方法と進め方                         | 学部の授業「景観論」を受講ししっかりと復習しておくことが望ましい。都市景観学特論Ⅰを事前に履修することが望ましい。ほとんどの授業にてテーマに沿って、調査や取りまとめた課題を報告し、意見交換をするなどアクティブラーニング型の授業を行う。   |         |     |  |                     |            |
| 授業計画                              | 1 景観の基本概念を使った調査や分析の演習<br>景観の概念<br>2 景観の基本概念を使った調査や分析の演習<br>景観の把握<br>3 景観の基本概念を使った調査や分析の演習<br>景観の分析・予測・評価<br>4 景観の構成要素別に調査や分析や演習<br>自然景観<br>5 景観の構成要素別に調査や分析や演習<br>田園景観<br>6 景観の構成要素別に調査や分析や演習<br>地域景観見学会1<br>7 景観の構成要素別に調査や分析や演習<br>森林景観<br>8 景観の構成要素別に調査や分析や演習<br>都市景観<br>9 景観の構成要素別に調査や分析や演習<br>道路景観<br>10 景観の構成要素別に調査や分析や演習<br>河川・海岸景観<br>11 視覚的な景観だけではなく、五感による景観も視野に入れた調査や分析の演習<br>構造物と景観<br>12 視覚的な景観だけではなく、五感による景観も視野に入れた調査や分析の演習<br>地域景観見学会<br>13 視覚的な景観だけではなく、五感による景観も視野に入れた調査や分析の演習<br>サウンドスケープ<br>14 視覚的な景観だけではなく、五感による景観も視野に入れた調査や分析の演習<br>食と景観<br>15 視覚的な景観だけではなく、五感による景観も視野に入れた調査や分析の演習<br>景観の意味 |         |     |  |                     |            |
| 授業の達成目標                           | 1) 授業を通じて、景観についての幅広い知識を身に付ける。<br>2) 空間を把握し、計画する上で不可欠な技術力を高める。   |         |     |  |                     |            |
| 授業時間外の学修                          | 第1回目の授業で示す参考図書など都市論や地域論、景観論に関する資料を授業前に読んでおく。授業後に理解が曖昧な時は再度精読する。また、自らの都市や地域、景観についての知見を深め、景観の社会的意義を理解するために、身近な都市や村落、自然地に赴き、その成り立ちや社会的位置づけなどについて考察を深めておく。予習復習4時間程度必要である。   |         |     |  |                     |            |
| 課題に対するフィードバック                     | 課題等は確認した後に返却する。必要に応じてコメントする。  | 評価方法・基準 |     | 受講態度や発表、報告物に関して、課題の理解、関係資料の活用、論点の整理、独自の視点、プレゼンテーションなどについて総合評価する。 |                     |            |
| テキスト                              | 関連書籍及び関連論文  |         |     |  |                     |            |
| 参考書                               | 授業において提示する。主なものを以下に挙げておく。<br>主なものは以下の書籍です。<br>①『場所の力』ドロレス・ハイデン 学芸出版社(2002)<br>②『日本の風景・西洋の景観』オギュスタン・ベルク 講談社(1990)<br>③『風景と空間』アラン・コルビュゼ、藤原書店(2002)  |         |     |  |                     |            |
| 備考                                |   |         |     |  |                     |            |